

京都市口腔保健支援センター
(保健福祉局保健衛生推進室保健医療課)
歯科保健担当 222-4420

切れ目のないむし歯予防対策

保育所（園）でのフッ化物洗口事業をはじめとした対策の推進について

- 本市においては、京都市口腔保健推進行動指針「歯ッピー・スマイル京都」（平成 21 年 3 月に策定）に基づき、母子口腔保健にあたる就学前の時期において、集団生活の場での積極的なフッ化物の応用による子どものむし歯予防をはじめとした取組を推進しているところです。
- フッ化物洗口事業については、これまで、保育所（園）のご理解・ご協力により、14 箇園において実施していただいているところです（平成 26 年 1 月現在）。
- 先日ご協力いただきました、実施園へのアンケートにおいて、フッ化物洗口によりむし歯予防に効果が見られたなどの貴重なご意見をいただいています。
- 当課においては、子どものむし歯予防をいっそう進めていくためには、フッ化物洗口を含む保育所（園）や家庭でのさまざまな予防対策が大切であるとして、このたび「むし歯ゼロ大作戦 !!」（下記及び別添資料参照）を各保育所（園）において取り組んでいただきたく、提唱させていただきます。ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

「むし歯ゼロ大作戦 !!」について

子どものむし歯予防は、「フッ化物による歯質強化」に加え、「歯ブラシやフロスによる歯垢除去」や「生活習慣指導や食育指導」も同様に大切です。

また、子どもだけでは技術面や継続面で実行が難しいことから、子ども・保護者・保育所（園）が一丸となって進めていく必要性があります。

別添の **むし歯ゼロ大作戦 !!** を活用していただき、子ども・保護者・保育所（園）の三者が共にむし歯を防ぐ行動に取り組まれるよう提唱いたします。

活用方法

- 啓発ツールとして

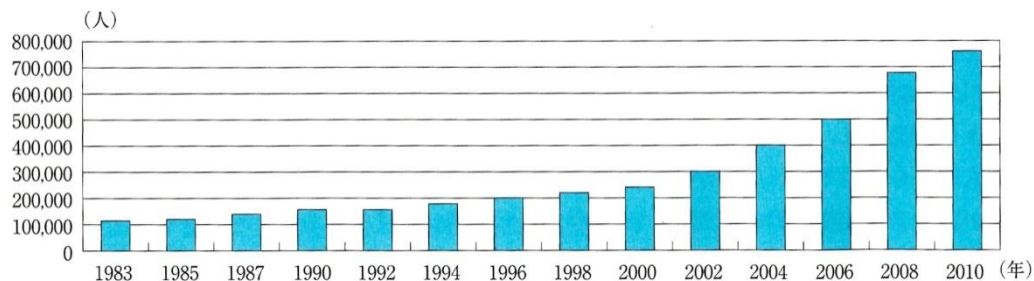
各保育所（園）において啓発用のツールとして、あるいは保護者向けにお渡しいただくなど、ご活用ください。

京都市情報館のトップページ「歯と口の健康づくり」からのダウンロード、あるいはご要望いただければ磁気データでお渡しいたします。（平成 26 年 3 月 1 日から）

集団フッ化物洗口とは

フッ化物洗口とは、水道水に洗口用フッ化ナトリウム製剤を溶かした洗口液で、ブクブクうがいを約1分間行うことにより、むし歯予防を図る方法です。

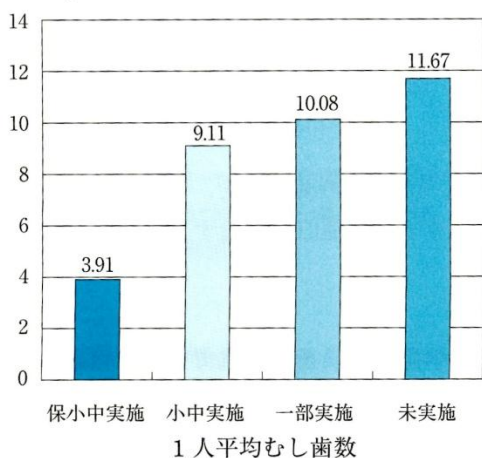
集団フッ化物洗口によるむし歯予防法は、全国的に定着している方法であり、全国で7,543施設、777,621人が利用しています（2010年3月現在）。



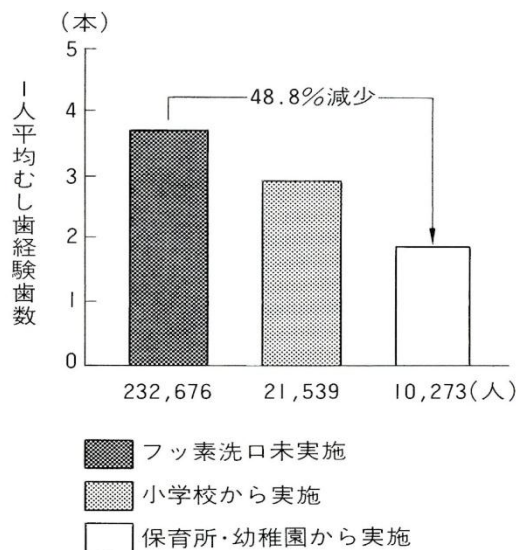
集団フッ化物洗口人数の経年的変化 (1983~2010年)

1. むし歯予防効果 (有効性)

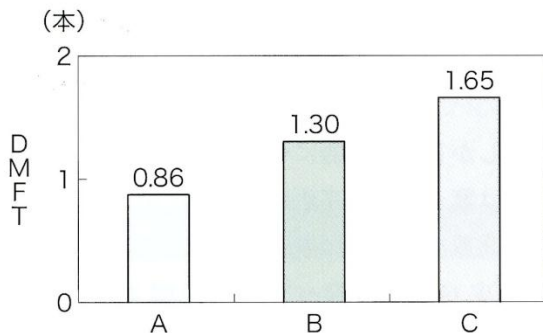
「フッ化物洗口ガイドライン」(2003年1月、厚生労働省医政局長及び健康局長から全国都道府県知事へ通知)では、4歳から14歳がフッ化物洗口によるむし歯予防効果の高い時期であるとされています。とくに、保育所(園)、幼稚園から洗口を開始すると、最もむし歯予防効果が高くなるという報告が多く存在します。



小児期フッ化物洗口の成人期むし歯数におよぼす効果 (2004年)



フッ化物洗口の小学6年生むし歯数におよぼす効果 (1981~1989年)



A: 全園、全小学校でフッ化物洗口実施の市町村(66市町村)
 B: 全小学校でフッ化物洗口を実施、園は未実施の市町村(6市町村)
 C: 園、小学校ともに未実施の市町村(16市町村)

フッ化物洗口実施状況別12歳児平均むし歯数の市町村較差 (2003年)

【出典】

1. フッ化物応用の科学. 日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編. 口腔保健協会. 2010年
2. わかりやすいフッ素の応用とひろめかた. 境 脩ら編. 学建書院. 2005年
3. これからのむし歯予防. 飯塚喜一ら編. 学建書院. 1993年

2. 安全性

(1) 口の中に残るフッ素の量

フッ化物洗口では、口を含む洗口液量の10～15%が口のなかに残りますが、フッ素の量としては、週5回法では、約0.2mgほどであり、紅茶カップ2杯程度の紅茶に含まれるフッ素の量と同じです。



洗口中に洗口液を飲み込んで安全です

週5回法の洗口1回分(コップ1杯)の洗口液に含まれているフッ化物(フッ素)を飲み込んでしまっても、園児の健康に影響を与えません。

(2) フッ化物の年齢別の急性中毒を起こす可能性のある洗口液量

(コップ1杯：5ml＝洗口液分配用ディスペンサー付きボトルー押し分)

年齢	平均 体重 (Kg)	園内で経過観察(2mgF/Kg)		病院で経過観察(5mgF/Kg)	
		フッ素量 (mg)	週5回法 洗口液 (コップ)	フッ素量 (mg)	週5回法 洗口液 (コップ)
4歳	16.3	33	26杯分	82	65杯分
5歳	19.0	37	30杯分	93	74杯分
6歳	21.6	42	34杯分	104	83杯分

3. 本市の取組

○ 事業名：京都市集団フッ化物洗口支援事業(京都市保健福祉局)

【対象】：京都市内の保育所(園)および幼稚園 満4歳児・5歳児クラスに在籍する幼児

【方法】：フッ化ナトリウム洗口液(5ml)にて、週5回のブクブクうがい法

(有効フッ素濃度250ppm,)

【進捗】：市内14施設(私幼：1, 私保：12, 市保：1)にて759名が実施(26.1月現在)

3歳から6歳にかけて、むし歯の有病者は2倍以上となっており、この時期における積極的なむし歯予防策の展開が、生涯にわたる歯の健康づくりにとって重要です。